



事業番号	11 01 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室
		実施期間	S24 ~	E-mail	kensetsu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業法等の法令に基づき、県が行うと規定されている建設業の許可、経営事項審査、建設工事紛争審査会の審理、建設業者への監督処分、解体工事業者及び浄化槽工事業者の登録を実施している。 県が発注した工事及び委託業務で、その成績が特に優れている場合、担当した技術者を評価し、当該技術者と所属会社を表彰している。 近年の公共投資額の減少や受注競争の中で、若手技術者が育ちにくい環境になっており、若手技術者の技術力向上に対する意欲を高めるため、表彰を実施している。 若者の建設業への就業を促進するため、産学官が連携した取組の強化が求められている。 <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発達を促進する。 技術者の資質の向上と建設工事等の品質の向上及び適正な施工の確保を図る。 若手技術者の技術力向上に対する意欲を高め、将来の建設技術を担う技術者が育つ環境を整備する。 産学官連携の取組の強化により、建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進する。 <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野県建設工事紛争審査会の運営、建設業許可・経営事項審査事務、優良技術者表彰、学びのフィールドの提供 など
-----------------------	---

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)		H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	前年度繰越		0	0
								1	優良技術者表彰申請者数	504	510↑
2	土木・建築系学科高校生の建設業への就職割合	69%	71%↑	75%↑	75%	達成		合計(A)	25,224	25,224	
3								うち一般財源	928	3,377	
4								決算額(B)	23,544	22,747	
								職員数(人)	33.5	33.5	

成果指標設定理由	<p>①技術者の資質の向上と建設工事等の品質の向上を目指すため、技術者の意欲につながる表彰制度の申請者数を指標として設定する。</p> <p>②建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、建設系学科高校生等を対象とした学びのフィールドの提供、資格取得支援による成果として、建設業への就職割合を指標として設定する。</p>
達成状況の分析	<p>①申請数は減少したが、成績評定平均点の上昇が僅かではあるが見られ、技術者の資質の向上と公共事業の品質の向上に繋がっている。</p> <p>②実際の建設現場における建設事業の体験、実践的な資格の取得により建設業への就業意欲の向上に寄与している。</p>

主な取組	<p>✓ 優良技術者表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰。 <p>【令和元年度受賞者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設工事 71名（一般47名、若手24名） 委託業務 20名（一般11名、若手9名） <p>✓ 建設産業の次世代を担う人づくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設技術実践プロジェクト事業を3校（長野工業高校、南安曇農業高校、飯田OIDE長姫高校）において実施し、47名が参加した。 2級土木・建築施工管理技士資格取得支援事業を5会場（県建設業協会（2会場）、南安曇農業高校（1会場）、飯田OIDE長姫高校（2会場））において実施し、109名が参加した。 	 <p>優良技術者表彰</p>
		 <p>建設技術実践プロジェクト事業</p>

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>(建設業法等に基づく事業) 引き続き建設業の健全な発達を促進する必要がある。</p> <p>(建設産業の次世代を担う人づくり推進) 取組を実施する高等学校の拡大を検討する必要がある。</p> <p>(優良技術者表彰) 表彰対象者の対象拡大について検討する必要がある。引き続き建設業の健全な発達を促進する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法令に則り、建設業の健全な発達を促進するため、引き続き事業の適正な執行に努める。 学校への説明、調整を行い、実施校の拡大を図っていく。 公共工事の品質向上と担い手確保・育成を図ることを目的に表彰制度を改善しながら継続していく。 法令に則り、建設業の健全な発達を促進するため、引き続き事業の適正な執行に努める。

事業番号 11 01 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室
-----	--------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	建設業振興費		23,544 千円	22,747 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	長野県建設工事紛争審査会	直接	建設工事の請負契約に関する紛争について、専門家による迅速かつ簡便な解決を図ることを目的として、「あっせん」、「調停」又は「仲裁」のいずれかの手続きにより行う紛争処理 【調停3件】	
2	建設業情報管理電算処理業務	委託	建設業許可及び経営事項審査に関するデータの管理等の電算処理業務を（一財）建設業情報管理センターに委託し、建設業許可及び経営事項審査の申請等の際に、センターが運営する「建設業情報管理システム」を利用して、審査等の業務を実施 【建設業許可件数1,261件、経営事項審査件数2,680件】	
3	建設工事統計調査等	直接	建設工事及び建設業の実態を明らかにすることを目的として、建設業許可業者を対象に行う、建設工事受注動態統計調査及び建設工事施工統計調査等の業務 【受注動態統計調査件数224件、施工統計調査件数2,018件】	
4	建設産業の次世代を担う人づくり推進事業費	直接	建設技術実践プロジェクト事業 実施校3校47名参加 施工管理技士資格取得支援事業 5会場109名参加	
5	優良技術者表彰制度事業	直接	長野県優良技術者表彰申請者 【申請者数：建設工事308人、委託業務179人】	